

# 山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi  
Veterinary Medical Association

第 743 号 令和5年4月

## 山口大学共同獣医学部獣医学科卒業証書授与式出席報告

### ＝ ご卒業された皆様の前途を祝す ＝

会長理事 田 中 尚 秋

あいにくの雨の中、去る令和5年3月23日(木)、午後1時30分から山口市吉田にある山口大学共同獣医学部獣医学研究科棟1階会議室において「令和4年度卒業証書授与式」が行われた。コロナ禍であったため一般参列の対面開催は3年ぶりということで、小職は初めての出席であったが、同窓会(青山会)の深町輝康会長と共に参列させていただいた。

本年度の卒業生は36名であったが、所用等で出席できなかった学生も多かったようで、学生生活最後の記念式典に出席できず残念であったろう、少なくとも6年間を共に過ごした学友と顔を合わせて語らいたかったであろう・・・と慮った次第である。

それにしても今期の卒業生は特に優秀だったそうで、事実、本年度獣医師国家試験の合格率は、全国16(今回対象となる卒業生がいない岡山理科大学を除く)の獣医系大学中一位であったとのことである。今期の獣医師国家試験は例年に比べて特に難しかったそうで、例年、全体の合格率は80%以上であったのに、今期は69.9%であり、東京大学が51.7%であったというから驚く。そんな中で、山口大学は94.3%であったというから、このことから如何に優秀であったかが推測できる。卒業生の皆さんの今後のご活躍が楽しみである。

この式典の中で、例年、学部長表彰、同窓会長表彰、(公社)日本獣医師会会長表彰、(公社)山口県獣医師会会長表彰等が行われており、今回、(公社)日本獣医師会会長表彰は、大崎優香さんが、(公社)山口

県獣医師会会長表彰は、藤原優美さんが受賞されることになった。

(公社)山口県獣医師会会長表彰は、小職から賞状と記念品をお渡しした。藤原さんは学科長表彰も受けられ、今回刊行した山口獣医学雑誌第49号に論文が掲載されるなど、かなり優秀な学生さんであったことが窺えた。

続いて挨拶をさせて頂き、卒業生並びにご家族の皆さんあて祝意を伝え、学部長をはじめ諸先生方のご功勞に対し敬意を表した。学生の皆さんへは、今後の期待と社会に果敢にチャレンジしていただきたいこと、共に学んだ学友を大事にしていきたいこと、自分自身の人生を楽しんでいただきたいこと、幸せな人生を歩んでいただきたいこと等を申し述べた。

また、現在、全国に55の地方獣医師会があるが、それぞれの地域で獣医師会に加入していただくようお願いした。同じ獣医師仲間として魅力のある獣医界を作るために協力していこうではないかと呼びかけ、自分が、これから獣医師になる後進のため、獣医界のために何が出来るか、そういうことを考えていただきたいと訴え、連帯していきたいことを伝えた。

最後に山口大学共同獣医学部の、今後ますますの発展と卒業生並びにご臨席の皆様方のご健勝とご活躍をお祈りして私からのお祝いの言葉とさせて頂いた。

受賞された学生から次のような感想と抱負が寄せられました。



## ◆日本獣医師会会長賞を受賞された大崎優香さん

この度は大変名誉ある日本獣医師会会長賞を授与いただき、大変光栄に思います。山口大学共同獣医学部での6年間、恵まれた環境の下、同じ志を持つ仲間と切磋琢磨しながら講義や実習に取り組んでまいりました。講義や実習を通して得た知識や技術はもちろん、素晴らしい先生方や信頼できる仲間との出会いが私にとってかけがえのない財産となりました。

所属の獣医内科学講座では小動物診療に携わらせていただきました。命の重みを肌で感じ、少しでも多

## ◆山口県獣医師会会長賞を受賞された藤原優美さん

この度は大変名誉ある山口県獣医師会会長賞を授与頂き、深く感謝いたしております。山口大学共同獣医学部に入学してからの6年間は、素晴らしい先生方や環境の下、獣医師を目指す同士である仲間と切磋琢磨し、励まし合いながら、獣医学生としての自覚や責任感を持って、講義や実習に取り組んでまいりました。

私は1年生の頃からYUAVSメンバーとして、学生から学部に対しての意見や要望を取りまとめたり、EAEVE認証に際しての取り組みを見てきたりしました。学部の運営やカリキュラムの変更等目まぐるしく

くの命を救うために獣医師としてできる限りのことをしたいという思いが強くなりました。また、臨床研究や学会発表を通して研究や症例報告の重要性を知り、獣医療はたくさんの方々を支えられ、進歩していることを実感しました。

卒業後は臨床医として、小動物診療に携わることとなりました。目の前の動物や飼い主様と向き合い、より良い獣医療を提供するとともに、獣医学の進歩に少しでも貢献できるよう努めたいと思います。

変化していく様子を学生の間で体験できたのは貴重であったと感じています。

さらに、地元である山口県内の実習先は、昔から馴染みのある団体であったり、企業であったりと懐かしく思う場面があり、そこで学んだ内容と思い出が結ばれ強く記憶に残っています。

今後は、山口大学共同獣医学部の卒業生であることを誇りとし、社会の期待に応えられる獣医師として、日々精進してまいります。

## 第64回山口県家畜保健衛生業績発表会を開催

県庁支部 前田翔一

(山口県畜産振興課)

令和5年3月13日(月)、山口県庁において、第64回山口県家畜保健衛生業績発表会を開催しました。本発表会は、家畜保健衛生所(以下、家保)等の職員が日頃の業務の成果を発表する場であり、中国四国ブロック家畜保健衛生業績発表会で発表する優秀な3演題を選出する場でもあります。

例年、畜産関係者の皆様に多数御参加いただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、前回に引き続き、参集範囲を県職員に限定した上で、審査会場には、助言者、家保所長及び発表者のみの出席とし、その他の県職員はリモートにより参加しました。

中国四国ブロックへは、全12演題の中から次の3演題が選出されました。

- 1 野生イノシシの豚熱感染を踏まえた農場防疫に係る取組(東部家保 弘中健人)
- 2 死亡子牛腸管から牛ヘルペスウイルス1型が分離された1症例(中部家保 田代久宗)
- 3 豚熱ワクチン接種豚の中和抗体価調査(中部家保 鹿島貴朗)

なお、各演題の内容につきましては、農林水産省のホームページに抄録が掲載される予定ですので、ぜひ御覧ください。

最後になりましたが、助言者の皆様には、それぞれの専門的なお立場から、適切かつ貴重な御助言をいただきました。この場をお借りし、改めてお礼申し上げます。

本発表会の成果を今後の業務に活用し、本県畜産業の発展に努めていきたいと考えております。

- 1 野生イノシシの豚熱感染を踏まえた農場防疫に係る取組:東部家保 弘中健人、古澤剛

令和4年3月に県内初となる豚熱陽性野生イノシシを確認。管内豚飼養頭数は県の7割を占め、2戸の大規模農場が存在する中、農場への豚熱侵入防止のため、関係機関と協力して、サーベイランスのための採材及び適切な死体処理を実施し、陽性野生イノシシの経時的な拡散、分布状況を把握。サーベイランスの結果を基に、野生イノシシに対して県による経口ワクチンの緊急散布、「山口県野生いのしし豚熱経口ワクチン対策協議会」による3回の散布を実施。飼養豚には早急なワクチン接種、防疫指針に基づく免疫付与状況等確認検査、子豚の移行抗体検査による適切な接種時期を決定。また、飼養衛生管理基準遵守の徹底指導、豚舎間を公道が横切る農場では迂回路看板を設置し、農場のバイオセキュリティが向上。さらに、豚熱発生時を想定した3回の机上演習と1回の実地演習を行い、防疫計画を改定・共有。当所及び関係機関職員の防疫意識の高位平準化を図った結果、防疫対応が強化。

## 2 死亡子牛腸管から牛ヘルペスウイルス1型が分離された1症例:中部家保 田代久宗、遠藤泰治

牛ヘルペスウイルス1型(BHV-1)は牛伝染性鼻気管炎(IBR)の病原体で、経口・経鼻感染により呼吸器症状を発症。成書に若齢牛で胃腸炎を起こすとの記述があるが腸管の感染事例報告は少数。2021年8月25日、黒毛和種繁殖農家で娩出された子牛が4日齢で死亡。病理組織学的検査で肝細胞の散発性微小壊死、軽度の化膿性髄膜炎、胸腺萎縮、回腸パイエル板のリンパ球減少、真菌様構造物を伴う壊死性化膿性線維素性肺炎及び壊死性臍動脈炎を確認。抗BHV-1抗体を用いた免染で肝臓、中枢神経、腸管及び臍動脈でBHV-1抗原陽性。細菌学的検査で有意菌は未

分離。ウイルス学的検査で肝臓及び腸管プール乳剤からBHV-1遺伝子が検出。小脳、空腸及び結腸からBHV-1野外株が分離。血清学的検査で子牛脳脊髄液にBHV-1中和抗体陽性。以上から本症例はIBRと診断。子牛の直接的な死因は易感染状態から二次感染による全身状態の悪化と推察。

### 3 豚熱ワクチン接種豚の中和抗体価調査：中部家保 鹿島貴朗、田代久宗

山口県は令和4年3月にワクチン接種推奨地域に設定され、4月から県内の全養豚農場で豚熱ワクチン接種を実施。特定家畜伝染病防疫指針が示す免疫付与状況等確認検査は令和5年3月現在、2回目まで終了。ELISA S/P値と中和抗体価の相関性について

ミニブタを除外し検証。ELISA S/P値と中和抗体価に正の相関を確認(決定係数 $R^2=0.45\sim 0.64$ )。 $R^2$ が小さくELISA S/P値を用いた中和抗体価の推定は困難。相関性を示す近似式は他県の報告と一部不一致、中和抗体価の低い個体が少なかったためと推察。ワクチン接種適期推定のため、1農場で30～50日齢の哺乳豚における移行抗体保有状況の確認検査を実施。ワクチンブレイクが懸念される個体の割合は、30日齢で40.0%、40日齢で13.3%、50日齢で3.3%。当該農場では、40日齢より高い日齢でのワクチン接種を推奨。今後も豚熱の動向を注視しつつ、追加調査やデータの蓄積を検討。

## 令和4年度第2回小動物講習会を受講して

宇部厚狭支部 羽 迫 広 人

(ことのは動物病院)

令和5年3月5日(日)に山口市で開催されました令和4年度第2回小動物講習会についてご報告いたします。当日は会場である防長苑に41名(うち会員29名)の先生方がご出席されました。

今回は獣医腫瘍科のⅠ種及びⅡ種認定医であられる小山田和央先生に「犬と猫の泌尿器外科」という演題でご講演いただきました。

ご講演内容は①尿管閉塞の診断と治療②犬尿路上皮癌の診断と内科治療の要点③膀胱部分摘出術と膀胱全摘出術の実際④尿管ステント・尿道ステントと、大きく4つの項目に分かれていました。

冒頭で泌尿器系のエマージェンシー疾患である尿管閉塞は、いかに早期に発見し治療に結び付けられるかが重要だというお話がありました。特に臨床症状や血液検査結果から腎疾患が疑われた猫について、安易に急性または慢性腎不全と診断するのではなく必ず尿管閉塞を除外すべきだという事を強調しておられました。

尿管閉塞の外科治療では、尿管切開術、尿管膀胱新吻合術、尿管ステント、S U B 設置術の適応症例や手術時のコツに関して動画を交えて分かり易くご説明いただきました。

続いて尿路上皮癌の診断方法や紛らわしい疾患について実際の症例をもとにご解説下さり、その際に治療で使用されるNSAIDsにはPPIやH2ブロッカーの併用が不要で、むしろ有害事象を惹起する可能性があるという論文をご紹介されました。

膀胱手術やステント設置術に関してもコツや術後に起こりやすいトラブル等、動画を交えて詳しく解説していただきました。

今回ご紹介いただいた手術には、特殊な設備の無い一次診療施設では実施が難しいものもありますが、二次診療施設で行われる手術の詳細や術後発生しやすいトラブルを把握しておくことはホームドクターとして治療を引き継ぐうえで重要であるため詳しく術式をご説明いただけたことは大変貴重でした。

今回の講習会で聴講した内容も、日々の診療にしっかり生かしていこうと思います。

最後になりましたが、未だ新型コロナウイルス感染症の脅威が去ったとは言い難い情勢の中、山口県で長時間のご講演をしてくださった小山田先生、開催にあたり感染予防の徹底等ご尽力いただいた関係者の方々に深謝いたします。ありがとうございました。



講演される小山田和央先生



質問される沖汐恵先生(防府支部)



質問される板本和仁先生(山口大学支部)



会場の様子



ランチョンセミナーで紹介された製品

## 令和4年度第4回理事会開催報告

常務理事 酒 井 理

令和5年3月16日(木)13時30分から、県獣医師会館2階会議室において、令和4年度第4回理事会を開催しました。

理事13名中12名、監事3名中2名に出席いただき、田中尚秋会長から平素からの会務運営の協力・支援に対する謝辞等の挨拶の後、11件の議案について審議していただきました。

各議案の説明内容は次のとおりで、いずれの議案も了承されました。

**第1号議案 令和4年度事業進捗状況について（報告事項）**は、本年2月に開催され第2回支部長会議の議題1の報告内容と同じ（会報3月号に掲載済み）ですので、説明は省略します。

**第2号議案 令和5年度事業計画及び事業予算（案）について（承認事項）**の内、**令和5年度事業計画(案)**も、第2回支部長会議で説明した内容と同じです。**令和5年度事業予算（案）**は、

- ・ 経常収益は、受取一般会費を7,225,000円、受取特別会費を15,750,000円計上した
- ・ 令和4年度は、「中国地区学会開催事業収益」として、中国地区各県からの受取負担金や、日本獣医師会からの協賛金を計上したが、来年度はこれらがなくなるので、経常収益の合計は、25,898,000円となり、今年度に比べて4,829,921円減額した
- ・ 経常費用については、今年度計上した中国地区学会のための印刷製本費や会議費等を減額した
- ・ 来年度鳥取県で開催される中国地区学会発表者の旅費が必要なため、旅費交通費を増額した
- ・ 経常費用の合計は、23,892,000円で、今年度に比べ、4,321,000円減額した

**第3号議案 令和5年度会費徴収（案）について（承認事項）**は、

- ・ 令和5年度の会費は、一般会費：年額2万円、特別会費：1頭当たり350円で、今年度と変更はなく、納入方法も同様としている

**第4号議案 資金調達及び設備投資に係る見込み(案)について（承認事項）**は、

- ・ 毎年度、事業計画にともない、議決をお願いしているもので、資金調達、設備投資の予定はない

**第5号議案 狂犬病予防事務に係る事故補償対策準備資金の取崩措置について（承認事項）**は、

- ・ 今年度新たに指定獣医師となられた3名の先生方の入

会金60万円を積み立てることとしている

- ・ 今年度の取崩額については、例年どおり、狂犬病予防注射に関する保険、狂犬病予防注射ポスター等の経費を計上している。

**第6号議案 令和5年度総会開催について（承認事項）**は、

- ・ 令和5年度通常総会は、6月11日(日)に、山口県セミナーパークで開催する予定としている

**第7号議案 会員の休会に関する規程の制定について（承認事項）**も、第2回支部長会議で説明した内容と同じです。

制度の概要については、今号別頁で紹介します。

**第8号議案 地方獣医師会会員組織率の向上対策について（報告事項）**も、第2回支部長会議で説明した内容と同じです。引き続き、各支部と連携して、本会への入会を呼びかけることとします。

**第9号議案 山口県獣医師会館検討会議報告について（報告事項）**は、山口県獣医師会館検討会議議長の網本昭輝宇部厚狭支部長に、これまでの検討状況について報告していただきました。

報告の概要については、今号別頁で紹介します。

**第10号議案 狂犬病予防注射指定獣医師の新規指定及び解除について（報告事項）**は、

- ・ 昨年12月に開催した「第2回小動物部会委員会」において、関係支部から報告があった、6名の先生の新規指定が承認された
- ・ 関係支部から3名の先生の指定解除の報告があった
- ・ 美祢支部の指定獣医師の指定が解除されたので、令和5年度から美祢市の集合注射は、宇部厚狭支部が実施することになった

**第11号議案 山口県獣医師会役員選任について（報告事項）**は、

- ・ 本会役員の任期が6月11日に予定している総会までとなっている
- ・ このため、役員選任の手続きを進める予定としており、5月2日～11日の10日間を自薦・他薦による立候補の受付期間としている
- ・ 3月号の会報に掲載して会員に周知するとともに、各支部に次期役員の推薦依頼を通知した

出席者から他の協議事項等の提案はなく、白永伸行副会長が長時間の協議への感謝の言葉を述べて、会を閉じました。

## 山口県獣医師会館検討会議報告について

常務理事 酒井 理

新たな県獣医師会館の取得については、会員の皆様から様々な御意見が寄せられていることから、令和3年度第3回理事会において検討会議の設置が承認され、職域別会員数の割合から、小動物部会から2名、産業動物部会から1名、獣医公衆衛生部会から1名の計4名の委員からなる検討会議が設置されました。

これまでの検討状況について、令和4年度第4回理事会（令和5年3月16日）において、検討会議委員長の網本昭輝宇部厚狭支部長から報告していただいたので、概要を紹介します。

なお、総務委員会（令和5年1月）及び第2回支部長会議（令和5年2月）においても、同内容を報告していただいています。

### 《報告の概要》

- ・新会館の取得に向け、新会館の設置場所・規模、取得方法、取得時期、資金調達等について、これまで3回検討会議を開催して検討してきた

### ○新会館の取得計画

- ・新会館の取得計画は、平成24年3月に開催された第7回理事会において決議され、令和10年を目標に、現在の場所に新たな会館を立て直すことと決められている

- ・鉄筋コンクリート2階建を建築する計画で、取得費用は、会館取得資金や減価償却引当金、会員からの寄付を充てるとされている

### ○現会館の現状

- ・外壁やフェンスの破損、水漏れなどに加え、3階天井裏コンクリートが剥がれて落ちてくるという危険な状況になっている。漏電もあり、3階の研修室は使用できない状況が続いている

### ○新会館の取得方法

- ・計画では、現在の場所に建替えるとなっているが、もっと良い取得方法がないかを検討するため、次の4つの取得方法案について、経費面、メリット・デメリット、ランニングコスト等について比較した
- ・この結果、案の2「他の場所に建替え」、案の3「中古マンション等の一室を購入」については、新たな土地の取得資金が必要なことや、会議室や駐車場の確保等の課題があり、案の4「貸しビルの一室を賃貸」については、「毎年かなりの金額の賃借料を支払う必要があること」と、「これまで積み立ててきた会館のための資金を使用することができないこと」が判明し、当初計画のとおり、**案の1「現在の場所に建替え」が最良**であることが確認できた

取得方法(案)	取得経費	利点・課題	ランニングコスト
<b>案の1</b> 現在の場所に建替え	○取得資金の利用が可能 ○用地取得費が不要 ●建設中の仮事務所の賃料が必要	○近くのJR駅から歩いて来られ、敷地が広く駐車場を十分確保できる ○近くの公共施設の利用が可能	○会議室を設けることで、会議室の賃料が不要
<b>案の2</b> 他の場所に建替え	○取得資金の利用が可能 ●用地取得費が必要 ○建設中の仮事務所の賃料が不要	▲広い敷地を確保する必要がある ●近隣に有料駐車場が必要	▲広い敷地を確保できない場合は、会議室の賃料が必要
<b>案の3</b> 中古マンション等の一室を購入	○取得資金の利用が可能 ○用地取得費が不要 ○建設中の仮事務所の賃料が不要	▲会議室、図書室の確保が困難 ●近隣に有料駐車場が必要	●共益費・職員駐車場の賃料が必要 ●会議室の賃料が必要
<b>案の4</b> 貸しビルの一室を賃貸	○貸室の敷金等のみ ○建設中の仮事務所の賃料が不要 ●取得資金が利用できない	▲会議室、図書室の確保が困難 ●近隣に有料駐車場が必要 ●取得資金を利用できず、公益法人財務基準に抵触する	●貸室の賃料が必要 ●会議室の賃料が必要 ●職員駐車場の賃料が必要

### ○新会館の取得費用

- ・建築方法を木造とし、研修室を設けない等、建物の規模を縮小することにより、会員から寄付を求めずに、会館取得資金等の範囲内で新会館を建替えたいと考えている

### ○今後の予定

- ・今後は、新会館の施設の規模・必要な設備、新会館の取得経費・現会館の解体経費、建築時期等、具体的な検討を行うこととしている

- 今後の検討に向けて、役員の皆様から意見や助言をいただきたい

### 《出席者からの意見・助言》

- ・会員への周知や総会への説明はどうするのか
- ・何年度に建設するのか、タイムスケジュール的なものはあるのか
- ・会員が心配しているのは、会員の負担が生じるのではないかということであり、今回の説明で、会員に

負担を求めないように検討しているということがよくわかった

- ・会館取得のために、会費を値上げすることはないという解釈で良いか
- ・建築資金不足になる場合はどうするかを考えておく必要がある
- ・現在の地層（地盤）は大丈夫なのか
- ・建築期間中の仮事務所や、倉庫の借り上げ費用は検討しているのか
- ・木造だけでなく、軽量鉄骨での建築も検討して欲しい

網本委員長が、「平成24年の計画に沿って、建物の規模を縮小し、取得資金の範囲内での建替えに向けた具体的な検討を行い、計画を逸脱するようなことがあれば理事会に諮るということで進めて行きたい」と説明し、報告を終了しました。

## 本会会員の休会制度について

常務理事 酒 井 理

(公社)日本獣医師会は、若年獣医師等の退会を防ぐために、休会中の会員の日獣会費を免除することとし、地方獣医師会に会員の休会制度を導入するよう求めています。

本会への新たな制度の導入に向け、総務委員会、支

部長会議における意見を基に修正した「山口県獣医師会の会員の休会に関する規程(案)」が、第4回理事会(令和5年3月16日)において承認されました。

制度の概要は、次のとおりですので、適用を希望される会員は、本会事務局にご相談ください。

### 《制度の概要》

適用の対象	「出産・育児・介護に伴う休職」、「長期の入院、療養に伴う休職」、「失業・廃業」 ※ただし、各種年金受給者は除く
休会の期間	最長3年間(毎年度申請)
会費の免除	会費納入期日まで申請した者は、当該年度の会費の免除をうけることができる
権利	日獣会誌の配付や学会・講習会等への参加等、休会会員の権利は一般会員と変わらないが、総会での議決権は行使できない
申請手続き	・休会の規程の適用を希望する者は、休会申請書に必要事項を記入し、所属する支部を経由して、本会事務局に提出すること ・本会会費の免除を受けようとする者は、当該年度の会費納入期限締切日までに申請すること

## リレー随筆

### 「はじめまして」「もう一度行きたい場所」

カルテを書いていたらパソコン画面の向こうから、次の随筆リレー書いてくれるよね?ととんでもないキラーパスが飛んできました(パワハラではありません、決して。)N O S A I 西部家畜診療所の近藤です。「はじめまして」

入会のあいさつもまだでしたので改めて自己紹介させていただきます。今年度より新規採用で西部家畜診療所に勤務しております、近藤浩生です。生まれは長崎県、出身大学は山口大学です。祖父母は銀行マン・床屋、両親は教師と、牛とは縁もゆかりありませんが大動物臨床獣医として日々バタバタ過ごしています。まだまだ素人同然ですので獣医師会の皆様、ご指導よろしく願います。

### 「もう一度行きたい場所」

日々バタバタ過ごしているといいましたがその理由の一つは間違いなくバスケットです。今年度はプロとやったり全国大会に出たりと、もはや趣味の範疇を超えて楽しんでます。そんな僕のバスケット人生の大きな思い出の一つに「NBAを観に行った」というのがあります。

6年前のちょうど今頃、大学1年生の春休みに一人でアメリカ・LAに行きました。お目当てはもちろんNBAでした。当時の6年生の先輩に手取り足取り教えていただきながら2か月ほど前からパスポートを作り、入国審査の練習をし、クレジットカードを作り、観戦チケットやホテルを予約して、人生初の海外へ飛び立ちました。昼は観光地として有名なサンタモニカで気づいたら18km歩いていました。今では考えられないですが休憩もせず夜はNBA観戦へ。日本とは比べ物にならないほど大きなアリーナ、いくらお金かけてるんだと思わずにはいられないほどド派手な演出、信じられないほど軽快に動く2m越えの選手たち、聞いたことがないほど力強い音のするドリブル、激しすぎるぶつかり合い、鼓膜が破れそうになるほど大きな歓声やブーイング、とにかくスケールが違いすぎてずっと開いた口が塞がらな

豊浦支部 近藤浩生  
(西部地区家畜診療所)

い状態だったことを今でも鮮明に覚えています。試合開始前に一人でおどおどしてる僕に気さくに話しかけてくれて、「初めての海外旅行なんだ!」と拙い英語で話したらコーラとポテトと全然サイズが合わないコービーブライアントのTシャツおごってくれた名前も知らないおじちゃん、今も元気にしているでしょうか。

この随筆リレーの執筆をきっかけに写真フォルダを漁っていたらいろんな懐かしい写真が出てきて、思い出が蘇ってきました。僕たちの代のスーパースター、八村塁選手が現役でいるうちにまたいつかNBAを観に行ける日が来るといいなと思います。前回行ったときは殿堂入りした選手の銅像お披露目の3日前とかだったのでそのリベンジも果たせれば...なんて思ったりもします。

稚拙な文章を読んでいただきありがとうございます。

次回は僕が勝手に(牛を捕獲するときの)投げ縄の師匠と仰いでいる同じ職場の三浦先生をお願いします。



さすがは名門ロサンゼルス・レイカーズ。平日の夜で、リーグの下位同士の試合にもかかわらずこの観客。

## 黒部溪谷鉄道

山口支部 鹿島貴朗

(山口農林水産事務所畜産部)

今回は、富山県宇奈月駅～樺平駅を結ぶ、黒部溪谷鉄道本線のトロッコ電車を紹介しようと思います。

黒部溪谷鉄道本線は関西電力グループが管理している路線です。今は観光列車として知られていますが、元々は電源開発用に敷設されたもの（Wikiより）で、現在も観光客は関西電力関係者と乗り合わせになることがあります。

乗車券は窓口での購入の他、公式サイトで予約ができます。定員制のため、繁盛期では事前に予約することをお勧めします。また、期間によっては樺平駅まで運行していなかったり、冬季は運行自体がありませんので、公式サイトをよく確認して下さい。

トロッコには、窓無しのもの、窓有りのもの（有料オプション）の2種類があります。自分は紅葉シーズン？に窓無しに乗車しましたが、高地を走

り、吹き抜ける風も非常に冷たく、防寒対策は必須と感じました（雨天の場合は雨具も必要）。

列車は宇奈月駅を出発すると、黒部峡谷沿いを縫うように走ります。線路の繋ぎ目を通過する際の振動や、カーブを曲がる際の金属音（軋み）、非常に小さいトンネル等冒険心をくすぐられる路線です。また、列車の仕様や線形の悪さのため、非常に低速で時間がかかりますが、景色を撮影するにはちょうどいいかもしれません。

そして終点である樺平駅から…、と駅周辺の見所について話を進めたいところですが、自分が乗った車両にトラブルが発生し、樺平駅手前の急勾配を登り切れないと判断され、途中駅での引き返しとなってしまいました。終点には何があるのか、実際に現地を確認して下さい。



想像以上に小型の機関車



宇奈月ダム。紅葉にはまだ早かったらしい

## お世話になりました

美祢支部 鶴田祐哉

(農林総合技術センター畜産技術部)

美祢支部の鶴田です。この度、県外の企業へ転職するため獣医師会を退会することとなりました。

在籍した6年間、会員の皆様方には本当にお世話になりました。獣医師会には、山口県獣医学会やFAVA等の学会、毎年実施していただいている大動物講習会、山口獣医学雑誌など多くの研鑽の場を設けていただき、非常に感謝しています。また、総会・懇親会や会報編集委員会を通し、普段接点の少ない畜産分野以外の先生方と関わりをもてたことも、いい刺激になりました。

4月からは地元長崎の、長崎バイオパークという動物園で働きます。バイオパークは、動物が生活している本来の生態系になるべく近づくために造り上げた環境の中で、動物たちが自由に暮らす“生体展示”方式を採用しています。動物の飼育場に人がお邪魔するスタイルで、リスザルが肩に乗ってきたり、カピバラの背中を撫でたりと、動物好きな皆様にはきっととても楽しい場所だと思います。ハウステンボスからほどほど近いので、長崎にお越しの際は是非訪れてみてください（早速営業です！）。

山口大学で6年、県職員で6年の計12年間山口に在住し、多くの獣医師の方々とは知り合うことができ

ました。せっかく知りあえた皆様と離れてしまうのは残念ですが、今後も山口で学んだことを大切に、頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、皆様の今後のご活躍を祈念しております。これまでありがとうございました。



長崎バイオパークはこの距離感で触れ合えます

訃報

樽見元輔先生のご逝去を悼む

長北支部長 大田悦三



長北支部の樽見元輔先生が、3月10日に腎疾患のためご逝去されました。享年80歳でした。

先生は昭和44年山口大学農学部獣医学科卒業後、昭和45年経済連萩支所に勤務され、平成12年機構改革により全国農業協同組合連合山口県本部 園芸畜産部畜産課に勤務され、平成15年3月31日全農県本部を退職されました。

この間特に和牛の飼養管理、登録、多頭数飼養管理等については抜群の指導力があり、子牛販売、枝肉販売の流通にも力を注ぎ、畜産農家は勿論のこと業者からの人望も厚く、農家指導を長年にわたり尽力されたその功績は多大でありました。

葬儀は萩典礼会館にて関係者等の参列の申しめやかに営まれました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

会員の異動

春の人事異動により次のとおり会員が異動されました。

1. 山口県職員

退職者（令和5年3月31日付け）

- 平田 幸治（岩国健康福祉センター保健環境部食肉検査課 課長）
- 吹屋 貞子（環境保健センター保健科学部 専門研究員）
- 久世 恭平（萩健康福祉センター保健環境部生活環境課食品衛生班 技師）
- 鶴田 祐哉（農林総合技術センター 畜産技術部 技師）

	〈新所属〉	〈氏名〉	〈役職〉	〈旧所属〉
環境生活部	—	西藤 裕一郎	審議監	廃棄物・リサイクル対策課 課長
	生活衛生課	河村 章	課長	動物愛護センター 所長
		坂本 聡	食の安心・安全推進班調整監	廃棄物・リサイクル対策課 主幹
		岡田 明子	乳肉衛生・動物愛護班主任技師	宇部健康福祉センター保健環境部生活環境課食品衛生班 主任技師
		藤田 柊人	乳肉衛生・動物愛護班技師	長門健康福祉センター保健環境部生活環境課食品衛生班 技師

健康福祉部	岩国健康福祉センター	鬼木 宏幸	保健環境部生活環境課食品衛生班 主査	長門健康福祉センター保健環境部生活環境課食品衛生班 主査
		大久保 淳	保健環境部生活環境課食品衛生班 主任	動物愛護センター指導課 主任
		上野 佳子	保健環境部食肉検査課 課長	岩国健康福祉センター保健環境部生活環境課食品衛生班 主査
	柳井健康福祉センター	竹田 学	保健環境部生活環境課食品衛生班 主任	周南健康福祉センター保健環境部試験検査課 主任
	周南健康福祉センター	殿河内 英雄	保健環境部 副部長	生活衛生課 食の安心・安全推進班 調整監
		鹿島 毅之	保健環境部生活環境課食品衛生班 主任	柳井健康福祉センター保健環境部生活環境課食品衛生班 主任
福田 栄作		保健環境部試験検査課 主査	岩国健康福祉センター保健環境部 主幹	

	〈新所属〉	〈氏名〉	〈役職〉	〈旧所属〉
健康福祉部	山口健康福祉センター	吉屋昌洋	山口保健環境部生活環境課食品衛生班 主任	宇部健康福祉センター保健環境部生活環境課食品衛生班 主任
		福田達也	防府保健部食品衛生課主任	生活衛生課 乳肉衛生・動物愛護班 主任技師
	長門健康福祉センター	金藤良一	保健環境部 主幹	周南健康福祉センター保健環境部生活環境課 課長
		古川勝也	保健環境部生活環境課食品衛生班 主査	岩国健康福祉センター保健環境部生活環境課食品衛生班 主査
		米津悟	保健環境部生活環境課食品衛生班 技師	岩国健康福祉センター保健環境部食肉検査課 技師
	萩健康福祉センター	野村恭晴	保健環境部 副部長	山口健康福祉センター山口保健環境部主幹
		木村雅美	保健環境部 主幹	宇部健康福祉センター保健環境部生活環境課 課長
		西本忠弘	保健環境部生活環境課食品衛生班 主査	生活衛生課 乳肉衛生・動物愛護班 主任
	動物愛護センター	吉母修栄	所長	周南健康福祉センター保健環境部副部長
		渡邊菜摘	指導課 主任	山口健康福祉センター山口保健環境部生活環境課食品衛生班 主任
	環境保健センター	松本知美	保健科学部 副部長	環境保健センター保健科学部 専門研究員

農林水産部	畜産振興課	稲吉洋裕	衛生・飼料班 衛生グループ 主幹	農林水産部畜産振興課 衛生・飼料班 衛生グループ 主査
		鳴重寿人	衛生・飼料班 衛生グループ 主任	下関農林事務所 畜産部 保健防疫課 主任
		大山ゆき	衛生・飼料班 衛生グループ 技師	山口農林水産事務所 畜産部 保健防疫課 技師
	ぶちうまやまぐち推進課	吾郷英昭	販路開拓推進班 大都市圏・輸出プロジェクトグループ 主幹	農林水産部ぶちうまやまぐち推進課 販路開拓推進班 大都市圏・輸出プロジェクトグループ 主査
	山口農林水産事務所	柳澤郁成	畜産部 部長兼美祢農林水産事務所畜産部部長兼萩農林水産事務所畜産部部長	下関農林事務所 畜産部 部長
		伊藤博志	畜産部 副部長兼畜産振興課長兼美祢農林水産事務所畜産部畜産振興課長	山口農林水産事務所 畜産部 保健防疫課 課長
		大谷研文	畜産部 病性鑑定室 室長	農林総合技術センター畜産技術部 専門研究員
		西本孝志	畜産部 保健防疫課 課長	山口農林水産事務所 畜産部 保健防疫課 主査
		山下太郎	畜産部 保健防疫課 主任	農林水産部畜産振興課 衛生・飼料班 衛生グループ 主任
	下関農林事務所	松本容二	畜産部 部長	萩農林水産事務所 畜産部 部長
		直井秀明	畜産部 保健防疫課 主査	下関農林事務所 畜産部 保健防疫課 主任

	〈新所属〉	〈氏名〉	〈役職〉	〈旧所属〉
農林水産部	下関農林事務所	前 田 翔 一	畜産部 保健防疫課 主任	農林水産部畜産振興課 衛生・飼料班 衛生グループ 主任技師
		弘 中 健 人	畜産部 保健防疫課 技師	柳井農林水産事務所 畜産部 保健防疫課 技師
	長門農林水産事務所	大 石 大 樹	畜産部 畜産振興課 課長 兼下関農林事務所 勤務	山口農林水産事務所 畜産部 病性鑑定室 主査
	農林総合技術センター	國 吉 佐知子	畜産技術部 部長 兼家畜改良研究室長	山口農林水産事務所畜産部 部長 兼病性鑑定室室長兼美祢農林水産事務 所畜産部部長
		長 尾 裕美子	畜産技術部 専門研究員	農林総合技術センター担い手支援部畜 産課 主任
		石 村 麻莉乃	畜産技術部 技師	下関農林事務所 畜産部 保健防疫課 技師
		笠 井 亨 浩	担い手支援部 学生支援 課畜産グループ 主任	萩農林水産事務所 畜産部 保健防疫課 主任技師

## 2. 山口県農業共済組合職員

	〈新所属〉	〈氏名〉	〈旧所属〉
中部地区家畜診療所		原 殿 花 織	東部地区家畜診療所
		谷 口 亜沙子	北部地区家畜診療所
		温 品 彰一郎	新規採用職員
北部地区家畜診療所		中 村 一 行	中部地区家畜診療所
西部地区家畜診療所		市 村 護	新規採用職員

お願い

## 会員異動報告について

人事異動等で、会員の住所等の変更があった場合は、すみやかに所属支部事務局に「会員異動通知書」を提出してください。手続きが遅れると、「日本獣医師会雑誌」をはじめ、(公社)日本獣医師会や本会からの通知等が届かなくなりますので、よろしくお願ひします。

※様式は本会ホームページに掲載しています。

## 山口獣医学雑誌第49号の刊行について

常務理事 酒 井 理

山口獣医学雑誌第49号を刊行し、本会ホームページに掲載しましたのでお知らせします。投稿していただいた先生方、編集に協力していただいた山口獣医学雑誌編集委員の皆様、感謝申し上げます。

## 《掲載論文》

## 総 説

○Hazard Analysis and Critical Control Point (HACCP)

豊福 肇

## 原 著

○牛糞便由来EHECの血清型および病原性関連遺伝子に関する研究

渡邊健太・西中間菜穂・清田寛子・水間なつみ・度会雅久

○大規模肉用牛農場で発生した牛呼吸器病症状候群とその対策

大山ゆき・亀山光博

## 症 例

○胆嚢粘液嚢腫を疑った粘液産生性胆管癌の猫の1例

原口友也・下ノ原 望・大草朋子・伊藤嵩人・辻 可奈子・板本朗代・脇本美保・山下祐里・壹岐 茜  
沖汐 恵・新田直正

## 資 料

○子牛の中耳炎に対するデジタルレントゲンを用いた撮影方向の検討

藤原優美・竹山哲矢・國貞宥妃・外川智周・田浦保穂・佐々木直樹

## お知らせ

## 令和5年4月の主な行事

- 4月1日 ・熊毛支部総会（光市）
- 4月4日 ・中国地区獣医師会連合会監査（広島県獣医師会）
- 4月6日 ・中国地区獣医師会連合会総会（山口グランドホテル）
- 4月24日 ・県庁支部総会（県庁）
- 4月27日 ・令和5年度第1回学会運営委員会（県獣東京）

## 事務局だより

- |                               |                                    |
|-------------------------------|------------------------------------|
| 3月2日 ・本会ホームページ協議（県獣会館）        | 3月22日 ・日本獣医師会第5回理事会（東京）            |
| 3月5日 ・第2回小動物講習会（防長苑）          | 3月23日 ・県自然保護課協議（県獣会館）              |
| 3月6日 ・自由民主党山口県連合会協議（自民党県連事務所） | 3月23日 ・山口大学共同獣医学部獣医学科卒業証書授与式（山口大学） |
| 3月13日 ・山口県家畜保健衛生業績発表会（県庁）     | 3月28日 ・会報編集委員会（県獣会館）               |
| 3月14日 ・山口県動物愛護管理推進協議会（県庁）     | 3月29日 ・山口大学共同獣医学部協議（山口大学）          |
| 3月16日 ・第4回理事会（県獣会館）           | 3月30日 ・災害時動物救護対策委員会（県獣会館）          |
| 3月17日 ・会計事務所協議（県獣会館）          | 3月2日 3月16日 3月30日 事業推進会議            |
| 3月20日 ・県生活衛生課協議（県獣会館）         |                                    |

次回編集委員会 4月25日(火) 13:30~

山口県獣医師会会報 第743号 令和5年4月10日（毎月1回発行）

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554

e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 豊 川 剛

発行責任者 田 中 尚 秋

印刷 コロニー印刷

## 麻薬施用者がいる病院・診療所のみなさまへ (麻薬管理者についての注意事項)

法の定めにより、2人以上の麻薬施用者が診療に従事する麻薬診療施設の開設者は、麻薬管理者1人を置かなければなりません。

(麻薬及び向精神薬取締法第33条)

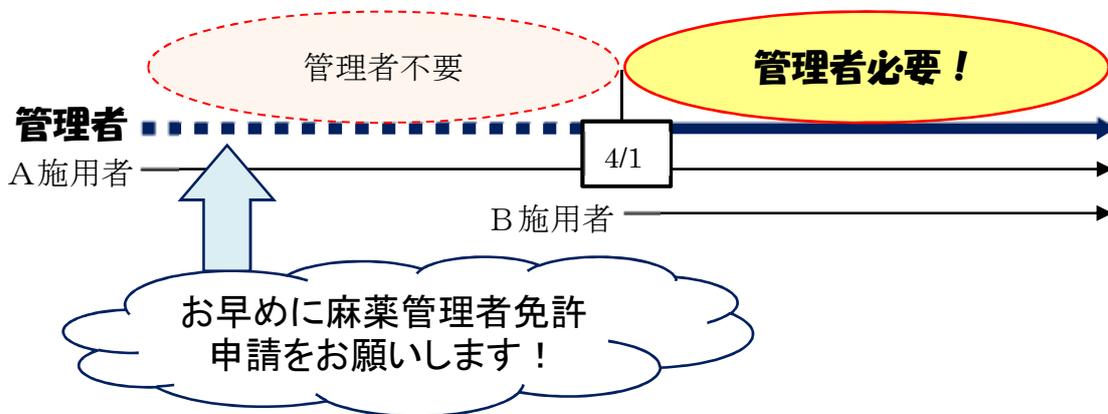
例えば、以下の場合、あらかじめ麻薬管理者免許申請が必要です。

- ✓ 麻薬施用者1人の病院・診療所に、新たに2人目の麻薬施用者が勤務するとき
- ✓ 現在の麻薬管理者が別の人に交代するとき

特に人事異動の多い年度初めは、手続きが漏れやすいのでご注意ください。

### 【例】

A施用者のみが勤務している診療所に、4月1日から新たにB施用者が勤務し始める場合（麻薬施用者が1人→2人）



その他、麻薬施用者免許のよくある手続きについて、山口県薬務課のホームページで紹介しています。

手続きについてご不明な点がございましたら、管轄の健康福祉センターまたは山口県薬務課にご相談ください。

山口県薬務課HP



### ★お問い合わせ窓口★

山口県薬務課 麻薬毒劇物班 083-933-3018

各健康福祉センター(岩国、柳井、周南、山口、宇部、長門、萩)

※下関市内の事業者の方は県薬務課へお問い合わせください